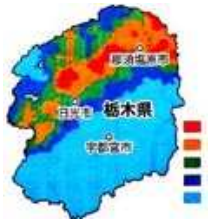
放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.02.24//no.18



赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08．02現在換算値

南相馬市より、日光市の子どもは高線量！
放射能の危険の中に置き去りとは！

〈単位//毎時マイクロシーベルト/μSv/h〉

「福島原発近くの南相馬市は、8～9 月、学校･通学路、公園等の除染を実施。除染前（地上 1cm）0.5～1.7μが、除染後 0.14～0.4 に下がりました。上真野小学校は、除染で 0.16～0.25、鹿島中学校校庭のプレハブ小学校校舎は 0.15 ほど、10 月中旬からは、1 日 2 時間以内の屋外活動可能。石神一小学校は 1.0～2.0 から、除染後 0.1～0.2 に下がりました。青葉幼稚園は 1.0 前後から、除染後は、0.2 程に。また、私立原町聖愛保育園は、10 月初旬の除染で、平均 0.12 になりました。」

それに対して、日光市は、1.0 以下なら学校生活で問題ないと、放射能の危険性を知らせず、以前と変わらず、体育など屋外活動をさせています。また、修学旅行への誘客に「地元の子どもたちが屋外などで通常通り活動している姿を見てもらうことが、安全性の理解に効果的」と、子どもたちを危険にさらした態度です。許せません。

今年、日光市の小中学校、保育園、幼稚園など 77 施設の線量平均（校庭･園庭の中央で計測//線量を低く出すためか?）は、0.20 以上は 6 割以上です。最高は、0.43 の 2 施設です。(参照　チラシ/nikko･no.14～15)

❖　❖　❖

「南相馬市は、小中学校、保育園、幼稚園の除染が進んでいます。しかし、学校に戻ったのは、中学生が約半数、小学生は 3 分の 1 程です。なぜなら、学校など以外の地域、住宅地は、高い線量のままで、3.0 以上のところもあります。これだけ高ければ、最初から移住させるべきだったでしょう。今からでも遅くはないと思います。

日光市も、移動の対策と、除染で可能な地域とを早急に検討すべきです。

もうすぐ放射能汚染での生活が1年です。いつまで置き去りにされるのでしょうか。

【一部抜粋//福島県南相馬市ルポ/避難と除染の狭間で〈星徹〉//週刊金曜日 2011.12.23】

風が吹くときは
マスクをしよう!!
布団干し、洗濯物は室内で

風の吹く日は、地表の放射性物質をまきあげ、それを吸い込むことになります。身体に入ると内部被ばくの危険が高まります。また、布団・洗濯物に放射性物質が付いては困ります。チョッとの注意の心がけを！

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン　❑〈1999.ナスビット論文より〉

①　移住義務ゾーン	5mSv/年以上
②　移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③　放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援。
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域。

❖年1mSv/時 0.114μSv/公衆被ばく限度基準/ICRP
内部被ばく含まず、成人対象/妊婦、乳児など敏感無視

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
〈日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提など〉
❑栃木県原発崩壊前//0.030～0.067μSv/h❑

日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm

マイクロシーベルト/以上～未満		
0.1 未満	1 ヶ所	0.2%
0.1-0.2	155 ヶ所	28.8%
0.2-0.3	187 ヶ所	34.8%
0.3-0.4	152 ヶ所	28.3%
0.4-0.5	30 ヶ所	5.6%
0.5-0.6	10 ヶ所	1.9%
0.6-0.7	2 ヶ所	0.4%
0.7-0.8	1 ヶ所	0.2%

なんと1年たってこの放射能対策、日光市は？

❑那須塩原市//放射能対策計 15 億 1555 万円(以下内訳)
ホールボディーカウンター(全身放射線量測定器)1 台//4700 万円
ガラスバッチ(小型放射線積算計)/中学生以下の子ども全員 1 万 7 千人//2900 万円
食材などの放射性物質簡易検査測定器 4 台設置。その他 2 台。

❑日光市//観光誘客のために 2 億 2000 万円(以下内訳)
東京スカイツリー、近隣駅に、日光への誘客宣伝看板などの事業に 7700 万円

❖ガラスバッチ//県は、外部被ばく測定でガラスバッチ（小型放射線量積算計）を昨年5月に県が測定し線量の高い小中学校などの児童･生徒3700人を対象に配布。目的は、「健康に影響ない」結果を公表すること。子どもの健康を心配しての対策でない！

日光市は、小百小、大桑小、豊岡中(一部)、高徳保育園、下原保育園の370人。

◇ホールボディーカウンター/なし。ガラスバッチ/県の指示のみ、食材測定器1台。

〈放射能の危険〉見たり聞いたり話したり

❑きれいな乳が出ていますように!!

空間線量が高さ1ｍで自宅周り0.18マイクロシーベルト／時、室内 0.08μSv/h の所で、乳幼児の娘を育てています。

子どもにとっては決して安心だとは言えない数値だと思っています。食材はできるだけ汚染されていない地域の物を選ぶ等、放射能には気をつけて生活しているつもりですが、目に見えない、臭いもない相手なのでいつも不安がつきまといます。授乳中でもあり自分の被曝も気になります。母乳をあげながら、どうか乳が汚染されていませんように、きれいな乳が出ていますようにとつぶやく日々です。

幸い家族の理解もあって、子どもの慢性被曝を避ける為 2 ヵ月程九州の実家で過ごせる事になりました。これでも十分ではないかもしれませんが、夫婦で悩みながら何度も話し合って見付けた、今私達に出来る事でした。〈旧今市-M〉

❖チラシ･バックナンバー見れます//PDF　http://atsugichild.web.fc2.com/

〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288･26･0130//nairamdal-1871@dream.jp

会報「大自然」NO.51-2011.09.07〈日光の自然を守る会〉から転載//抜粋

自然災害(地震・津波)、人的災害(原発事故)

山下　正和

東日本大震災で犠牲となられ生命を落とされた方々のご冥福をお祈り致します。地震は、日本史上最大の被害をもたらし、まさに天変地異の恐さを実感経験する事態となりました。自然が秘めているパワーの脅威をあらためて実際に思い知らされました。

東日本大震災は、大津波によって強固で安全とされた原子力発電所の炉心までも壊滅させ、漏れ出した放射能被害は、未曾有の人災となってしまいました。

自然災害である地震と津波だけであれば、被災地の頑張りにも活気づいているはずと思われますが、壊滅的に破壊された原発から漏れ出して飛散し続ける「放射能原子」の高数値は、今だに悪化しつづけており、避難区域が広がるばかりの様相では復旧復興はおろか生活出来きるようになる時期が計れない状況にあります。

想定外の巨大地震、巨大津波によって原発の安全神話は崩壊、壊滅的被害に政府、原発委、東電の各者発表では「想定外」が頻繁に使われ、対応の遅れや不手際、責任回避の言い訳と取れる使われかたの発言が多々感じられるのです。

原子核を扱う危険極まりない施設に於いて想定外とはあまりにも御粗末な言い訳で、不安がつのるばかりです。私の「想定外」とは、原発事故の現場で消防車の進行がガレキによって阻まれ、原子炉建屋が破裂して広島の原爆ドームを連想する光景の中、消防隊が注水のホースを人力で設置する映像を見て唖然としました。

高濃度の放射線が蔓延し、危険極まる車外に出て被曝覚悟の手作業を敢行させなくても、ブルドーザーやパワーショベル等の建設重機類の機械を駆使すればガレキを含む障書物を排除すれば放水車進入路の確保くらいは出来たはず。遠隔操作可能な機能を搭載した建設機械の投入は考えなかったのか？出来なかったのか…?

さらに、事故によって放射能が充満する原子炉建屋内の汚染水にスニーカーで浸って作業を行い、被曝したなどは全く理解出来ない行動です。作業を行なう人も、やらせる会社も放射能に対する知識があったとはとても思えない信じられない映像、報道を見て多くの疑問を感じる私の想定外でした。

頭脳、英知、技術、装備全てに於いて先進国であるはずの日本で、後手後手と対応は遅れ、現場の作業員に被曝の危険性を強いる手作業の対応も私には「想定外」のこと、日本の技術力は、この程度のものかと思うほどお粗末にしか見えません。〈つづく〉

❑ **538**カ所/2011.10.03～12/**日光市測定**(地上 50cm　1km 間隔で測定)　毎時マイクロシーベルト

❖小百地域　0.34-0.36-0.39-0.40-0.43-0.45-0.45-0.49-0.49-0.49-0.58-0.62-0.74

❖所野地域　0.22-0.26-0.27-0.27-0.29-0.3-0.37-0.46-0.48-0.49-0.51-0.53-0.54

５年後、子どもと笑って過ごしていたいです♪
6

ここでつながった。。。嬉しくなりました

○×市在住/仮名　ナナオ

でも、嬉しいことも。

いま、わたしは失業中（求職中）（原発事故のせいです）なんですけど、でも、職業訓練で、パソコンの訓練中です。同じ教室のクラスメイトの子どもを持つママ2人が、やはり放射能のことを気にしていて、わたし以上に気にしていることがわかったので、ここでつながった！！！と

嬉しくなりました。

さらに、◇のコミュでも同じ市の人とつながることができました。

一人でも、同じ考えの人がいると嬉しいですね。

特にわたしは、母子家庭で、母一人子一人なので、家では常に孤独です。

誰に相談できるでもなく。。。全て、一人で悩んで、一人で解決してますので。。。

愚痴を言う人もいなく、とてもさびしい苦悩の日々でした。

リラックス。大切ですね！

○×市、確かに日光にくらべれば、汚染度合は低いです。でも、うちのアパートの側溝の土は、1マイクロシーベルト/時越えてますよ。。。同じ市内の方の自宅雨どいの下では、1．3とか1．5マイクロシーベルト/時あったそうです。

これにも話があり、わたしが市長タウントークに行った次の日にもタウントークがあり（3日間開催してました）、その管理人はやはりそこへ参加して、市長に直接質問したらしいです。直訴して、実際自宅に市に測定しに来てもらったんです。でも、残念ながら、市が測定しに来た日はあまり高い線量が出なかったらしく。。。残念！！

でも、この管理人さんともっと早く知り合っていたら一緒に参加できたのに。。。と思いました。

そう、わたし、思うに、共感を呼ぶには絶対、『ママ』狙いがいいかもです。

こどもを持つ親（特に母親）は、大なり小なり放射能のことを気にしていると思うので、その方たちからまずは訴えていけば理解を得られると思います。

心から応援しています。　〈次号に、つづく〉

❑「こども　まもりたい」神奈川県内市民の放射能汚染対策を考えるグループ
http://ameblo.jp/hirohaco/

❑厚木市、愛川町・清川村の子どもを放射能から守りたい〈修学旅行問題〉
http://atsugichild.blog.fc2.com/blog-category-23.html

❑日光・放射能から子どもたちを守る会//PDF 置き場〈修学旅行問題プロジェクト〉
http://atsugichild.web.fc2.com/